



ドイツ証券会社、第 10 回及び第 11 回日本政策投資銀行債券（財投機関債）で 共同主幹事を務める

【2003 年 12 月 3 日、東京】 ドイツ証券会社東京支店（所在地：東京都千代田区、支店長：ジョン・T・マクファーレン）は、本日、日本政策投資銀行による財投機関債発行に際し、みずほ証券株式会社と共同主幹事を務めた旨を公表しました。本件は、ドイツ証券が日本政策投資銀行の財投機関債で初めて主幹事を務める案件となります。

日本政策投資銀行第 10 回財投機関債は、発行額 200 億円、期間 7 年、表面利率 1.170%、発行価格 99.94 円、第 11 回債発行額は 100 億円、期間 15 年、表面利率 1.830%、発行価格 99.94 円となっています。なお、両債券ともに払込日は 2003 年 12 月 16 日となります。利払日は、第 10 回債は 2004 年 6 月 20 日を初回利払日とし、以降毎年 12 月 20 日及び 6 月 20 日、第 11 回債は 2004 年 3 月 20 日を初回利払日とし、以降毎年 9 月 20 日及び 3 月 20 日とする、それぞれ年 2 回利払いとなっています。

日本政策投資銀行財投機関債は、格付投資情報センター（R&I）及び日本格付研究所（JCR）から AAA（トリプル A）、スタンダード・アンド・プアーズから AA -（ダブル A マイナス）、ムーディーズから A2 の発行体格付けを取得しています。

ドイツ証券会社東京支店の中居英治債券本部長は、「日本政策投資銀行による第 10 回及び第 11 回財投機関債の共同主幹事を務めることが出来て大変光栄に思います。超長期債のみならず中期債に対する当社の提案力や販売力に加え、日本の債券資本市場全般の活性化に向け尽力してきたこれまでの実績が評価されたものと考えております。今後も、投資家並びに発行体双方のニーズを考慮に入れた起債を支援していくことで、同市場の活性化並びに発展に貢献していきたいと考えています」と話しています。

以上

ドイツ銀行グループは、総資産約 8,510 億ユーロを有し、6 万 9,300 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 76 カ国で 1,300 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベート ウェルス マネージメントの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。また、ドイツおよび欧州大陸主要国においては、個人および中堅企業向けビジネスの分野で圧倒的な強みを発揮しています。

ドイツ銀行グループは、刻々と変化するグローバル市場を舞台に、お客さまに幅広い金融ソリューションを提供していくことを使命としています。私たちは、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的に応えていくことこそが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店（日本における代表者兼東京支店長：ジョン・マクファーレン）、ドイツ銀行東京支店、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：ティム・ハドソン）、ドイチェ信託銀行株式会社（代表取締役社長：関崎司）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部

安立 聖子

電話: (03) 5156-7705

www.japan.db.com